

第 19 回島根県臨床検査技師会精度管理調査報告書によせて

島根県臨床検査技師会の皆様、本年もよろしく申し上げます。第 19 回精度管理調査へご参加いただき、有難うございました。今回の調査報告書で検査の全領域において精度管理が行われておりますので、皆様には精読いただき、島根県の検査精度管理の実態を把握し技量を磨く機会として利用ください。

今回は新たなご施設のご参加もあり、臨床検査に対する関心や精度管理の重要性が高まっていると感じます。昨年度の医療法改正により、検体検査を行う全ての医療機関に検査の精度の確保が要求されており、当調査も精度の担保に寄与できると考えます。今後も多くの医療機関の方のご参加により当調査が充実することを期待しています。

検査の標準化は継続して行われるべき活動であり、概ね良好な結果が得られているように感じます。また、精度管理が難しい生理、微生物、病理などについても努力して継続いただいております。このような教育的な意味も感じる島根県の精度管理調査をさらに発展頂きますようお願いいたします。経年的な傾向を分析したり、ある一定の年限でプログラムを組んで一通りの学習効果が得られるようにするなど、未来を見据えた精度管理の方向性を考えていくことも大事かと思えます。

島根大学病院検査部では、検査の国際認証である ISO15189 を取得し 1 年が経ちました。厳しい審査をパスするための検査精度管理に追われる毎日ではありますが、最終目標は患者や医療従事者に有用な情報を届けることで最大限の利益を供与することです。今一度医療従事者の原点に帰り、精度管理調査を通じて島根県の医療に安心を与えていけることに誇りを持って進みましょう。

今後も島根県全体の検査精度を担保し、顧客のニーズを十分満たす検査室を構築していくために、皆様のご協力をお願い致します。

臨床検査精度管理委員
島根大学附属病院検査部
長井 篤